

事務事業名	農業女性アドバイザー設置事業					☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 03	働く人々が輝き続けるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	農政課
施策名	計画 11	農業の振興				所属係	農業振興班	課長名	古閑 誠也
基本事業名	体系 32	経営力の強化				担当者名	上山直美	電話番号 (内線)	248-1111 1166
予算科目	会計 01	款 06	項 01	目 05	事業 77	法令根拠	合志市農業女性アドバイザー認定要領		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 18 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 地域農業の振興を図るため、農業に携わる女性の経営と地域活動を促進し、女性の視点を活かした農業、農村の振興、発展を目的に熊本県及び合志市長認定の農業女性アドバイザーを認定し合志市で現在8名の認定し支援している (業務の内容) 研修会への参加、報酬費等の支払い事務。 (予算の内訳) 報酬・費用弁償・						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

市認定の農業女性アドバイザー8人を設置
 家族経営協定締結の推進及び締結調印式への参加
 会議報酬・費用弁償支払い事務

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市内の農業に携わる女性

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

経営及び地域活動に参画してもらう

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

安定した収入を確保できる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 会議出席回数	回
イ 推進活動日数	日数
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 農業女性アドバイザーの人数	人
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 経営及び地域活動に参画できたと答えた女性農業従事者の割合	%
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 安定した収入を確保できたと答えた人数	人
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			142	206	206	206	206
	事業費計 (A)		千円	0	0	142	206	206	206	206	206
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間			30	30	30	30	30	
		人件費計 (B)	千円	0	0	119	119	119	119	119	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	261	325	325	325	325	
活動指標		ア	回			3	3	3	3	3	
		イ	日数			27	27	27	27	27	
		ウ									
対象指標		ア	人			8					
		イ									
		ウ									
成果指標		ア	%								
		イ									
		ウ									
上位成果指標		ア	人								
		イ									
		ウ									

合志市

事務事業名	農業女性アドバイザー設置事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成6年度から始まった制度で、県知事認定者(認定期間5年)と合志市長認定者(認定期間3年)があり、農業経営や農家の生活向上に意欲的に取り組み、地域振興などのリーダーとして活動できる概ね40歳以上55歳以下の女性農業者を農業女性アドバイザーとして認証し現在8名方が活躍して

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
農業女性アドバイザー活動により、家族経営協定数が、急速に増加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
支援を受けた女性から、受けてよかったという意見を聞いている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 担い手の育成や、認定農業者の育成は、新市建設計画や、市長マニフェストに合致している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 農業女性の地位向上対策は、合志市の農業振興の強化に寄与している。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象者はアドバイザー認定要件に合致し、人数も妥当なものとなっている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 担い手の育成や、認定農業者の育成は、新市建設計画や、市長マニフェストに合致している。 農業女性の地位向上対策は、合志市の農業経営の強化に寄与している。 家族経営協定数の増加は、協定内容からして、安定した農業経営が行われている証であり、多いほうが望ましい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 農業女性の地位向上や、安定した農業経営が後退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業女性の視点を活かした農業や、農村の振興を図るものであり、他に施策は無い。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 活動回数を減ずれば、成果が後退する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会議や推進活動の事務業務やそれに伴う支払い事務は、職員以外で対応できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 対象者は市内農業女性であり、公平・公正になっている

合志市

事務事業名	農業女性アドバイザー設置事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

有効性においては、農業女性の地位向上対策が合志市の農業強化に寄与している。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

農業女性の地位向上は、市内農業の経営強化に寄与している。

農業女性アドバイザーは現在8名であり旧合志町は2名で旧西合志町が6名で構成されているので見直しを検討したい。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

農業女性アドバイザーの活動の強化により、農業所得の増加に繋げる。

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項